

2019年5月16日(木)
愛知県政策企画局
企画調整部企画課企画第二グループ
担当 浅田、篠畑
内線 2594、2294
ダイヤル 052-954-6089
愛知県スポーツ局
アジア競技大会推進課企画グループ
担当 山肥田、會田
内線 2827、2845
ダイヤル 052-954-6729

知事の中国渡航中の行事結果について

5月15日午後、知事は中国において、浙江省長と面談し、2022年の杭州アジア競技大会と2026年の愛知・名古屋アジア競技大会の盛り上げなどの連携について意見交換しました。その後、浙江省杭州市内の浙江大学を訪問し、本県との連携・交流について意見交換しました。

また、第19回アジア競技大会組織委員会の副主席である杭州市長及び組織委員会役員等とも面談し、PR動画の作成などさらに具体的な連携内容について意見交換しました。

1 浙江省長面談（担当課：アジア競技大会推進課）

(1) 日時

5月15日(水) 午後2時10分から午後3時まで

(日本時間5月15日(水) 午後3時10分から午後4時まで)

(2) 場所

紹興飯店(浙江省紹興市)

(3) 面談者

袁家軍(えん・かぐん) 省長

※2022年杭州アジア競技大会組織委員会主席

(4) 愛知県側出席者

大村知事

(5) 内容

冒頭、袁(えん)省長からは、愛知県の知事として初めて浙江省を訪問する大村知事への歓迎の言葉とともに、産業集積や豊かな歴史など、浙江省と共通点が多く日本の重要な地域である愛知県との産業、文化、観光、医療などにおける交流の意向が述べられた。

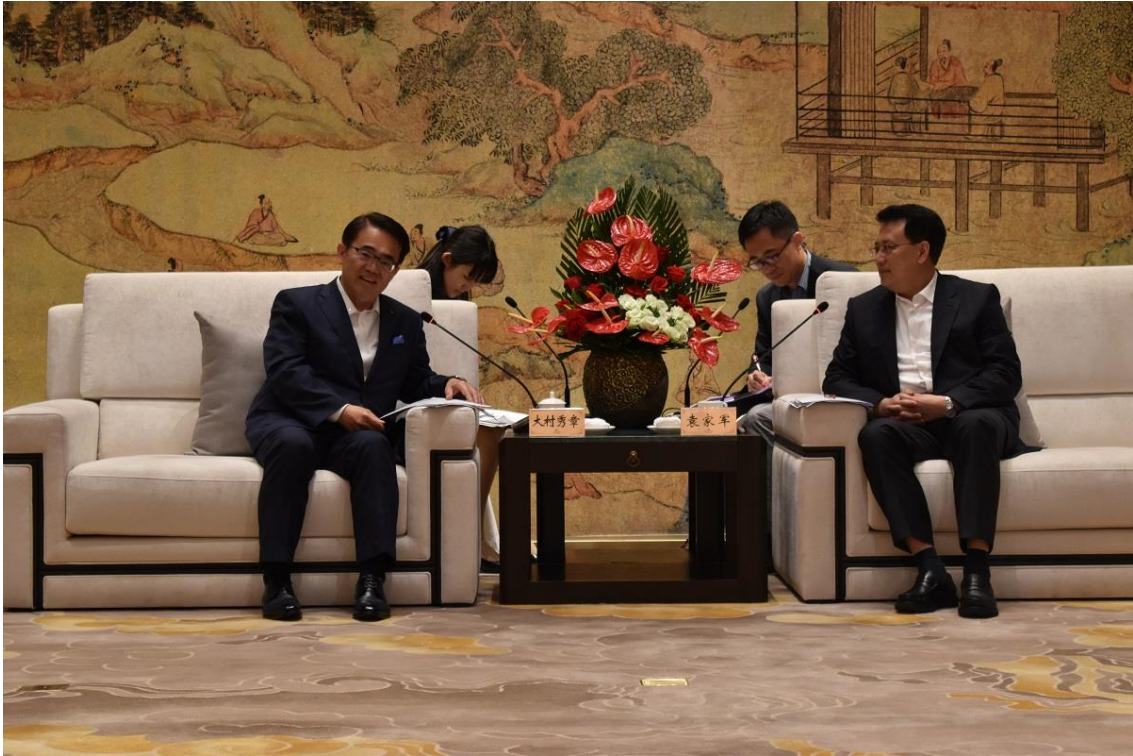
大村知事からは、初めにアジア競技大会について「2022年の杭州大会、4年後の愛知・名古屋大会の開催地同士として協力していきたい。一昨日も国家体育総局の苟(こう)局長と面談し、2022年の杭州大会、2026年の愛知・名古屋大会を盛り上げることで合意した。また、今年3月に杭州大会組織委員会の皆様が愛知県を訪問された際にも両大会の連携について意見交換し、具体的にはOCA総会における共同PRや、両大会の共同PR動画の作成、職員の相互派遣などについて提案したところである。これらの取組により2022杭州大会には日本から多くの方々を送り、2026愛知・名古屋大会には中国、浙江省からも多くの方々を訪れてほしい。」との発言をした。

これに対し袁省長からは「アジア競技大会を通じた交流については、組織を挙げて全方位で取組み、双方の発展につなげたい」との発言があり、両者で合意した。

さらに袁省長からデジタル産業を中心とする民間経済の発展、世界最大の寧波港を通じた開放型経済、都市部と農村部のバランスのとれた経済、豊かな歴史と文化など浙江省の特色について紹介があった。大村知事からは、自動車や航空宇宙などの産業集積と東京に次ぐ国内第2位のGDP、海外の大学との連携など愛知の特色や取組について紹介し、合わせて、中部国際空港と杭州国際空港の直行便の開設についても要請した。

これに対し袁省長からは、「杭州、中部の直行便開設については検討を進め、国の航空部門にも打診をする。ほかにも連携の具体例として浙江省、愛知県に共通する自動車、航空宇宙などの発展や、港の物流による貿易経済発展、教育研究分野における浙江大学や省内の研究機関との連携などについて具体的に提案できる。このようなことを省と県がサポートできるよう愛知県との友好交流を進めていきたい」との発言があった。

大村知事からは「すばらしい提案をいただいた。包括的な友好交流ができるよう、MOU（覚書）の締結について協議していきたい。」と発言し、袁省長からも賛同の意向が表明された。



袁省長との面談の様子



知事と袁省長の写真



面談参加者との記念撮影

2 何蓮珍（か・れんちん）浙江大学副学長（海外交流統括）との面談（担当課：企画課）

（1）日時

5月15日（水）午後4時45分から午後5時25分まで

（日本時間5月15日（水）午後5時45分から午後6時25分まで）

（2）場所

浙江大学（浙江省杭州市）

（3）面談者

何蓮珍（か・れんちん）浙江大学副学長（海外交流統括）

（4）愛知県側出席者

大村知事

（5）内容

知事から、今回の訪問を契機に、愛知県と浙江大学間の大学や学生、研究開発、スタートアップなど幅広い分野での連携・交流をより深めていきたい旨を述べるとともに、本県が進めるスタートアップに関する国際的な大学間連携の取組を説明した。また、本県と浙江大学間で連携・協力を深めていくため、愛知県と浙江大学の将来的な MOU 締結を提案した。

これに対し、何（か）副学長から、浙江大学は、愛知県では名古屋大学や名古屋工業大学といくつかの分野で連携しており、今回の大村知事の訪問を通じて、更に連携する分野を広げ、深めていきたいと考えている、愛知県との MOU 締結に向けて、具体的な協議を進めたい旨のコメントがあった。

さらに、知事から、来年6月に本県で開催される「アジア大学サミット 2020」について、浙江大学の参加を要請したところ、何副学長は、今年度のアジア大学サミットにも参加したと回答し、来年度も参加する意向を示した。



何副学長との意見交換



記念品交換



面談参加者との記念撮影

3 杭州市長面談（担当課：アジア競技大会推進課）

(1) 日時

5月15日（水）午後6時25分から午後7時10分まで
（日本時間5月15日（水）午後7時25分から午後8時10分まで）

(2) 場所

杭州マリオットホテル銭江（浙江省杭州市）

(3) 面談者

徐立毅（じょ・りっき）杭州市長

(4) 愛知県側出席者

大村知事

(5) 内容

冒頭、徐（じょ）市長からは、豊かな歴史やデジタル分野でのイノベーションなど杭州市の特色とともに、アジア競技大会については、会場などのインフラ整備が順調に進んでいることの説明があった。また、「アジア競技大会の開催を契機に、経済力の大きな愛知県との経済的な協力も進めていきたい。」との発言があった。

大村知事からは、「先ほど面談した浙江省の袁（えん）省長とは、アジア競技大会を始め経済など様々な分野での交流を図ることで合意した。一昨日には国家体育総局の苟（こう）局長と、本日は袁浙江省長と、そしてここで、事実上の主役である徐杭州市長とこうしてアジア競技大会の成功に向けて話ができることを喜んでいる。いよいよ5月末には愛知・名古屋大会の組織委員会を設立するが、私が会長を、会長代行には中部圏の経済界の代表、また、名誉会長には経団連の榊原前会長に就任いただく。我々行政と経済界が一体となってアジア競技大会を成功に導きたい。今年3月には杭州大会組織委員会の皆様が愛知県を訪問されたが、その際に、杭州、愛知・名古屋両大会の連携について意見交換し、OCA総会における共同PRや、両大会の共同PR動画の作成など具体的な提案をさせていただいた。実現に向けさらに協議を進めたい。両大会を日本と中国でしっかりPRすることにより、2022年には日本の多くの方々に杭州大会を観戦いただくとともに、2026年には中国からも多くの方々に愛知・名古屋大会へお越しいただけることを期待する。アジア競技大会を日本と中国で盛り上げる良い機会であり、杭州との交流も深めていきたい。」と発言した。

徐市長からは「今後、相互の連携により愛知・名古屋大会と杭州大会が大いに盛り上がり、成功を収めることは、両大会の開催都市にとって極めて有益なことであり、両大会の盛り上げのため、共に協力していくことが大切である。」との発言があり、今後のさらなる連携について賛同が示された。



徐市長との面談の様子



知事と徐市長の写真



面談参加者との記念撮影